

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県川崎町 国民健康保険川崎病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,286	3,631	第1種該当	-	13：1

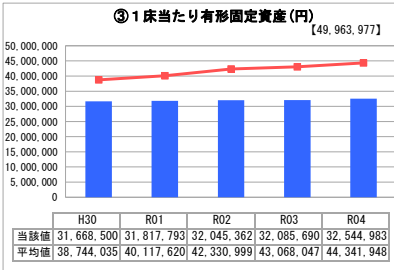
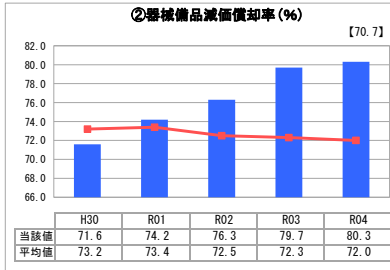
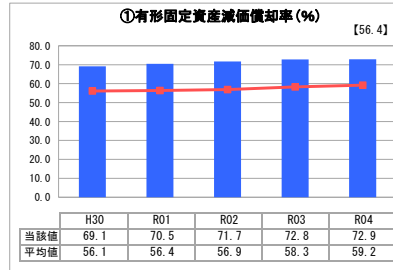
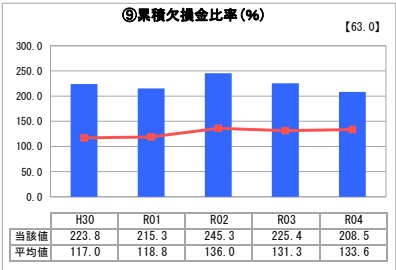
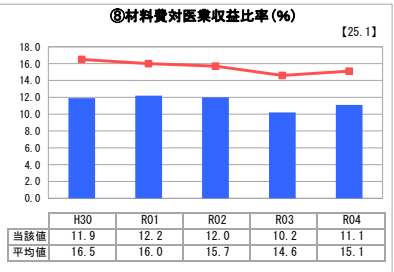
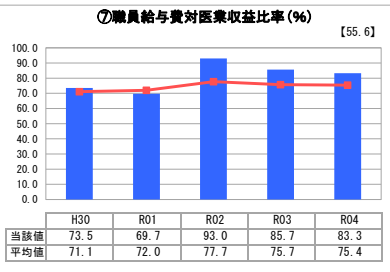
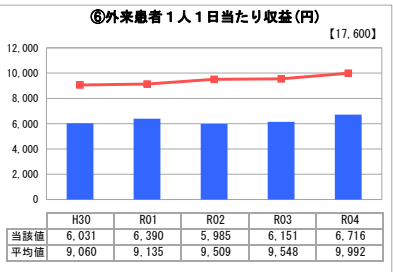
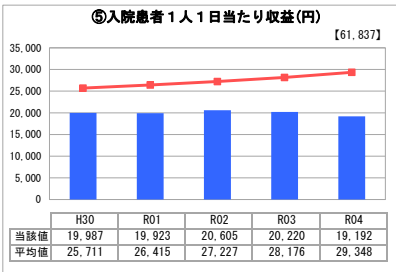
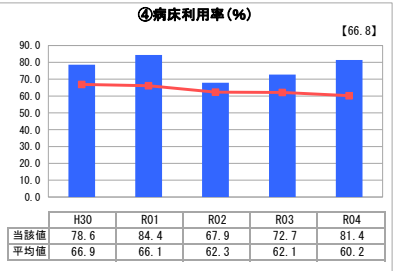
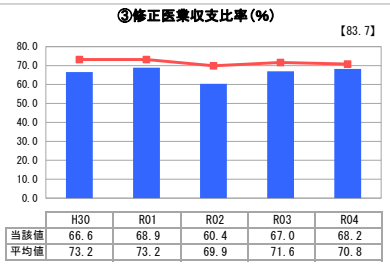
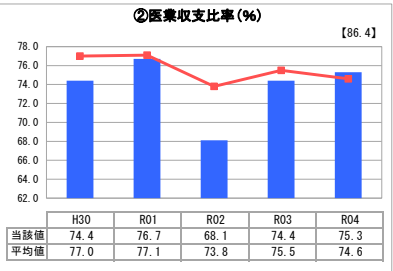
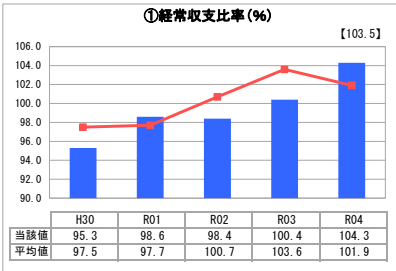
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
30	28	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	58
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
30	28	58

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の両側・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

「人々の健康を支える病院」とする基本理念の下、町民に安心・安全を与えるため良質で安定的な医療を提供するとともに、各種健診・健康づくり事業などの疾病予防や介護予防に積極的に取り組む、地域の医療水準の向上に努めている。

また、町内で唯一の救急病院として24時間救急患者の対応を行いながら、急性期病院等の後方支援病院として、慢性期・回復期等の患者層のニーズに沿った病床機能の整備を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度と比べて4%近く上昇している。新型コロナウイルスが落ち着いたことによる入院収益と外来収益の増加と思われる。医業収支比率も同様に前年度より上昇している。病床利用率はコロナ禍以前の水準まで回復しており今後も同水準を維持したい。累積欠損比率は減少傾向であるが類似病院平均と比較すると高い状況にあるため今後も欠損金の減少に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成7年に現在の場所へ移転・新築をしてから25年以上が経過している。前年度と比較すると、有形固定資産減価償却率はほぼ横ばいであり、機械備品減価償却率に関しては微増である。建物の附属設備の不具合箇所については修繕や改修工事を行い、耐用年数を超えた機器器具や備品等の更新についても、経営状況や必要性を考慮しながら実施していく。また、使用していない機器等を除却処理していく。

全体総括

令和4年度決算は、新型コロナウイルスの影響が減少したため入院収益や外来収益などがコロナ禍前の水準近くまで回復してきている。しかしながら、原材料費等の高騰に伴い費用も増加しており、今後も厳しい経営状況が続くことが予想される。

今後も、経営改善の取り組み、安全で適切な医療の提供を行いつつ、地域医療の拠点として病院経営に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。